

編集後記：コロナ禍で非接触式の体温計が売れているようです。放射温度計は、小学校の理科で日なたと日かげの地面の温度を比べるのに使われたりと、現代の理科教育ではそれなりになじみのある道具です。赤外線で物体の温度を測るという原理も知られているとは思いますが、しかし、ステファン・ボルツマンの法則は、高校地学の気象の分野では扱われず、代わりに、日なたで水の昇温（短波放射による加熱）を測って太陽定数を推定する実験が載っているのが現状で、目に見えない赤外線が役割を担う温室効果を正しく理解するの

は実は容易ではないようです。金星が暑いのは太陽に近いから、と答えてしまう人も多いです（直接的な原因としては温室効果を挙げるほうが適切です）。温暖化とコロナ、一見、別々の課題に見えますが、見えないうものといかに向き合うか、という点が共通しているようにも思えてきます。温暖化は時間スケールの長い課題ですが、コロナはどうでしょうか。早く終息することを願うところです。

（佐藤尚毅）